

お茶の水女子大学「プロジェクトマネジメント特論」

2050年カーボンニュートラルに向けたエネルギー戦略と技術開発 ～2050年CNに向けて、エネルギー需給構造の変革だけでなく、 産業界、経済社会全体の大変革を考える～



講師：水本 伸子
株式会社IHI 元・取締役常務執行役員（講座時点は顧問）

2023年6月7日（水）にお茶の水女子大学プロジェクトマネジメント特論において、「2050年カーボンニュートラル（CN）に向けたエネルギー戦略と技術開発」と題し講義を行った。階段教室で、理学、ライフサイエンス、比較社会文化学、人間発達科学、ジェンダー社会科学など様々な専攻のM1、M2学生約60名が聴講した。

講義の狙い

気候変動とエネルギーは世界中で喫緊の課題であり、毎日のニュースになるほど変化が激しい。2050年CNの実現は、企業の将来にわたって存続するための事業戦略にとっても最重要課題となっている。CNを考えるためには、俯瞰的な視野が必要で、まず日本の立ち位置を知り、世界の動向を知る必要がある。日本のエネルギー戦略はどのように作られているのか、その上で企業はどのような事業戦略を立て、技術開発を進めてイノベーションを起こすのかを概説することによって、エネルギー問題の理解を深める。

講義の内容

1. **日本という国について**（GDP世界3位、アジア唯一のG7国、CO2排出量世界5位、食料自給率、エネルギー自給率、資源、国土の66%が森林、火山国、災害大国）、新聞報道でみるエネルギー問題
2. **日本のエネルギー政策**（パリ協定、気候サミット、再エネ導入量、電力システム改革、第6次エネルギー基本計画、CNへの取組と課題、グリーンイノベーション基金、クリーンエネルギー戦略、GX）
3. **企業のエネルギー戦略**（グループビジョンと経営方針、事業の変革、エネルギー分野の取組、企業を取り巻く社会環境、AZEC国際連携）

学生たちの反応

質問は、エネルギー全般についてと、お茶大の卒業生である私に対するものが多かった。重複する内容をまとめて、30件の回答をした。

身近な問題であるエネルギーについて、感覚でものを考えるのではなく、あふれる情報をいろいろ学んで、自分で考えて欲しいという思いが伝わった。就活を控えており、物理は役に立つのか、なぜIHIを選んだのかなど、会社選びは切実な問題のようだ。

以上